



# 那覇市立教育研究所

所報第7号

平成21年3月3日  
那覇市金城3-5-3  
所長 池間 生子

## 「授業研究会の質！」

所長 池間 生子

高まらない授業研究会の課題は何であろうか。

一つ目に、多くの学校で見られる褒める事の多い授業後の研究会ではないだろうか。質問や意見、考えがなかなか出てこない理由として考えられるのは、

授業者に対する遠慮  
授業から学ぶ時の視点の曖昧さ  
先輩教師の発言への遠慮  
共に授業をつくってきた指導主事への遠慮等

「ご苦労様」「お疲れ様」「よかったです」では、次の授業研究会が「楽しみ」という訳にはいかなくなる。

二つ目に、指導案の検討過程のありかたに視点を当ててみたいと思う。

授業者が決まり、指導案を作成する段階に入ると、

それぞれ意見尊重するあまり一貫性がなくなってしまう。

授業者の思いが強すぎて、目標やつけたい力がぼやけてしまっている。

等、指導案の検討会のあり方についても、基本的な進め方の確認が必要ではないだろうか。

(つづく)

## 研究報告書復活！

〔研究報告書はみんなの財産〕

教育研究所の中心的事業の一つに研究員の指導があります。半年間の研究の成果は「研究報告書」としてまとめられ、より多くの先生方が共有できるようにと各学校にも配付しております。

しかし、昨今の予算不足により、研究報告書を作成できない状況が何年か続きました。その数年間は、原稿がCDに残されている活用されたのかどうかは疑問です。

今年度も予算はたいへん厳しい状況です。前期はカラーケント紙や製本テープ等を使って手作りをしました。しかし「みんなの財産」という考えから、年度末の報告書はやはり冊子にすることにしました。那覇市の印刷室にお世話になることとで何とか研究報告書復活のめどが立ちました。先生方のお手元にお届けできるのもまもなくです。

## 図書室より

那覇市緊急雇用対策により、本研究所の図書室にもKさんという青年が配置されました。県外での派遣業務の経験もあるKさんが誠実に仕事をこなしてくれるおかげで、書架の整理整頓、図書の確認、県内外の紀要の整理など、気になりながらもなかなか進まなかった仕事、着実に片付くつああります。今まで以上に利用しやすくなり、静かで清潔で、多くの教育専門書を取り揃えている当図書室を大いにご利用ください。お待ちしております。



## 大丈夫？ ウイルス対策

本研究所には「学校ネットワーク支援グループ」と「教育PC保守管理グループ」があり、各学校でPCの定期点検や不具合が生じた際の対応等に、8名の専門員が対処しております。

先だって、比嘉徳広保守管理主査から次のような衝撃的な報告がありました。

ある学校でなかなかウイルスを駆除できないため、全職員に使用しているすべてのUSBメモリーを提出して頂いたところ、約200本も集まり、そのほとんどがウイルスに感染していたというのです。

児童生徒の成績や個人情報、パソコンで処理・管理されることが多くなった昨今、ウイルスによる情報の流出、破損、喪失の危険性は、全教師に関わる大きな問題となっています。「私は大丈夫！」と過信せず、全職員が危機意識を持ち、ウイルス感染の有無について常にチェック、対策をしたいものです。



あなたのパソコン  
だいじょうぶ？



\*\*\*お知らせ\*\*\*

## 第91期教育研究員成果報告会

日時：3月27日（金）14:00～

内容：後期研究員4名による研究成果発表  
（研究報告書及びプレゼンテーション）

\* 授業の工夫改善を目指す先生方、是非ご参加ください。